

# 明政クラブ

## 野母崎高浜交流海岸施設(高浜アイランド)の現状と今後の対策

**問** 赤字の要因とその改善策について伺いたい。また、次期指定管理の考え方を伺いたい。

**答** 台風などの影響により夏場の栈敷利用者が見込みを下回ったこと、喫茶レストランの食材費が見込みを上回ったこと、当初予定していなかったテレビコマercialを実施したことなどから、赤字となっている。

その改善策として、ホームページによる魅力ある食事メニューの紹介や手ぶらで楽しめるバーベキューの提供による集客対策、テレビコマercial中止や職員の配置見直しなどによる収支改善を行っている。

また、次期指定管理については、制度導入の効果や業務の範囲、選定方法などを検証し、経費の詳細な積算を行うとともに、関係部局と協議を重ねながら、運営のあり方を検討したい。



▲現在の指定管理期間は平成31年末まで

## 土曜授業の実施

**問** 土曜日に学校において充実した学習の場を提供し、児童生徒の学力向上に取り組むことは極めて大切であると考えますが、考えを伺いたい。

**答** 土曜授業は、児童生徒の土曜日の教育環境を豊かなものにし、学校や家庭、地域の連携を深めるとともに、学力向上にもつながるとして実施を推奨している。

しかし、土曜日には社会体育や習い事などが定着し、日程調整が困難なため、授業の実施が進んでいないのが現状である。そこで、平成29年度は、例年6月下旬から7月にかけて実施している「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の中で、原則全ての市立小中学校で土曜授業を実施することとしている。今後とも学校や家庭、地域の状況を踏まえながら、土曜授業の推進を図りたい。

# 公明党

## 高齢者が住み続けるための高島地区の住環境整備

**問** 島民の7割が市営住宅に居住しており、高齢となって介護度が上がると福祉施設への移住が必要だが、島内の

施設に入れないことで島外流出につながっている。住み続けられる住環境を整備する考えはないのか。

**答** 島内の市営住宅には、老朽化が進んでいる建物や耐震性が低い建物があることから、耐震性が高い建物へ入居者の移転集約を進めている。

一方、福祉サービスにおいては、養護老人ホームとデイサービス事業所がそれぞれ1カ所のみであるため、現在、通所・訪問・泊まりのサービスを組み合わせ提供している小規模多機能型居宅介護の整備などを視野に入れ、介護サービス基盤の充実に向けた検討を行っている。

住民の皆様が高齢になっても安心して住み続けられるよう、関係部局間で連携して取り組んでいきたい。

## 発達障害児の支援策

**問** 発達障害児の早期発見のために行っている巡回相談について、希望施設だけでなく全ての幼稚園などで実施する考えと、保育士などへの療育指導の充実、気になる子への複数回訪問の実施の考えはないのか。

**答** 巡回相談は、希望施設からの状況報告と保護者の同意を得た上で実施しており、平成27年度は、全施設の約半数に当たる73カ所で行った。作業療法士や言語聴覚士など複数の専門職員がチームを組んで訪問し、発達障害の早

期発見に向け、非常に効果的であると認識していることから、全ての幼稚園などでの実施に向けて準備を進めており、なるべく早い時期に実施したい。

また、巡回相談にあわせて行っている施設職員への療育指導などの充実や、必要に応じて複数回の訪問を行うなど、さらなる支援の充実に努めたい。

# 創生自民

## 琴海地区の福祉施策

**問** 旧琴海町では、さまざまな機関が連携して一元的に福祉事業に取り組んできた。今後とも現在と同様の福祉事業を維持してほしいが、見解を伺いたい。

**答** 琴海地区は合併前から関係機関が連携するとともに、地域住民が主体となりさまざまな福祉の取り組みを行っており、互助の活動が強い地区であると考えている。

そのような中、平成28年10月に、福祉分野の課題にワンストップで対応する多機関型地域包括支援センターを琴海行政センター内に設置し、多分野の相談支援機関とのネットワークが構築されてきている。

今後とも、支援の拡充を行いながら、行政センターを中心に関係機関との連携を強化し、住民の皆様とともに、福祉施策の充実に取り組んでいく。